

STAFF

センター長 黒田 光太郎

専門領域: 材料科学工学、工学教育
電話: 052-789-5694, 3349
メール: kuroda@cshe.nagoya-u.ac.jp

教授 池田 輝政

専門領域: 高等教育学、教育行政学
電話: 052-789-5693
メール: ikeda@cshe.nagoya-u.ac.jp

助教授 近田 政博

専門領域: 比較高等教育学、初年次教育
電話: 052-789-5692
メール: chikada@cshe.nagoya-u.ac.jp

助教授 中井 俊樹

専門領域: 高等教育マネジメント、大学教授法
電話: 052-789-5385
メール: nakai@cshe.nagoya-u.ac.jp

専任講師 鳥居 朋子

専門領域: 高等教育カリキュラム論、教育経営学
電話: 052-789-5691
メール: torii@cshe.nagoya-u.ac.jp

助手 中島 英博

専門領域: 教材作成法、労働経済学
電話: 052-789-5384
メール: nakajima@cshe.nagoya-u.ac.jp

助手 小湊 卓夫

専門領域: 大学評価、経済学説史
電話: 052-789-5815, 5925
メール: kominato@provost.nagoya-u.ac.jp

助手 塚本 佳代

専門領域: 大学評価、西洋教育史
電話: 052-789-5814, 5925
メール: tsukamoto@provost.nagoya-u.ac.jp

専門職員 井上 和美

電話: 052-789-5696
メール: inoue@cshe.nagoya-u.ac.jp

2003年度 外国人客員教授

高 利明 (Gao Liming)

所属: 北京大学(中国) 教授
電話: 052-789-5386 (2003年4月~9月)
専門領域: 遠隔高等教育に関する研究
メール: gao@cshe.nagoya-u.ac.jp

リチャード・ペイジ (Richard M. Paige)

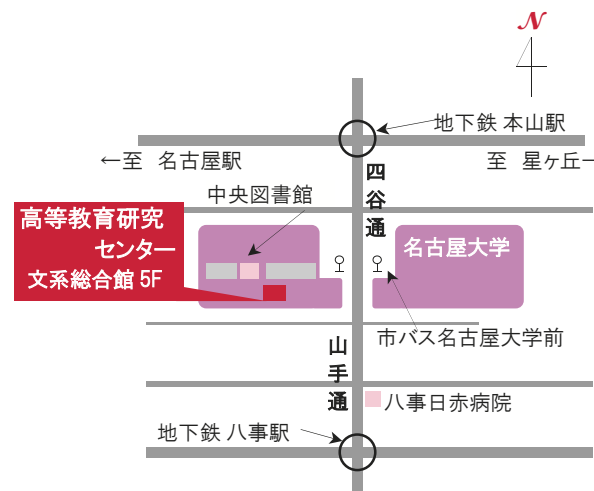
所属: ミネソタ大学(米国) 教授
専門領域: 高等教育のカリキュラムの国際化
電話: 052-789-5386 (2003年10月~2004年3月)
メール: paige@cshe.nagoya-u.ac.jp

2003年度 国内客員教授

濱名 篤 所属: 関西国際大学 教授

潮木 守一 所属: 桜美林大学 教授

三浦 真琴 所属: 中部大学 助教授



名古屋大学 高等教育研究センター

Center for the Studies of Higher Education
Nagoya University

〒464-8601 名古屋市千種区不老町

電話 052-789-5696

FAX 052-789-5695

http://www.cshe.nagoya-u.ac.jp/

webmaster@cshe.nagoya-u.ac.jp

デザイン 都路 芳子

名古屋大学
高等教育研究センター

2003-2004

Nagoya University

名古屋大学高等教育研究センターは、1998年4月9日に「学内共同教育研究施設」として設置されました。「国際的な視野のもとに高等教育研究機関の戦略的課題の解決に貢献する」をミッションとして掲げています。

設置目的

名古屋大学高等教育研究センターは、国内外の研究者の協力を得て、学部及び大学院における教育・研究活動との連携の下に、高等教育に関する研究・調査を行い、高等教育の質的向上に資することを目的とする。

(名古屋大学高等教育研究センター規程第一条)

重点目標

1. 名古屋大学の教育の質向上に資する研究を推進する

本学教育の現実に立脚しながら、理論と応用を統合する研究開発を進め、授業(クラス)、科目(コース)、教育課程(カリキュラム)の3つのレベルにわたる教育システムの設計を支援する。

2. 名古屋大学の組織マネジメントの質向上に資する研究を推進する

高等教育マネジメントの理論と応用に関する研究を推進し、高等教育機能の高度化を目指す本学の組織改革を支援する。

3. 中部地区における高等教育研究の拠点を形成する

本センターの研究開発力とそれに基づく成果を、中部地区を中心とした国内外の高等教育機関に還元する。

活動計画(平成15年度)

1. 名古屋大学の教育の質向上に資する研究を推進する

- ①初年次教育の改善に資するスタディ・ティップスの開発
- ②「カリキュラムおよび授業」の設計と開発に関する研究
- ③プロフェッショナル・スクールのための標準的な教材作成法に関する開発

2. 名古屋大学の組織マネジメントの質向上に資する研究を推進する

- ①評価情報分析室と連携した「経営情報システム」の開発
- ②大学における戦略策定の手法化に関する研究

3. 中部地区における高等教育研究の拠点を形成する

- ①ジャーナル『名古屋高等教育研究』の刊行
- ②ニューズレター『高等教育研究プロフィール』による広報
- ③ホームページによる国内外への情報発信
- ④セミナー等の開催による地域の教育関係者に対する情報発信

教育活動(平成15年度)

<学士課程>

全学教養科目(2年生前期)

「未来の大学像をつくる」

(担当:センター教官)

基礎セミナーA・B

(1年生前期・後期 担当:近田)

基礎セミナーB

(1年生後期 担当:池田・中島)

<大学院課程>

高等教育政策論—高等教育計画—

(前期 担当:池田)

高等教育経営論—組織・管理—

(後期 担当:池田)

高等教育内容論—メディア教育開発—

(後期 担当:池田)

これまでの主な成果

●成長するティップス先生

「成長するティップス先生」とは、当センターが開発したティーチングティップス(授業の秘訣集)のことです。当センターは設立以来、本学の教師が日常の教育活動の中で出会う悩みの解決をサポートすべく、ティップスの開発に力を注いできました。平成13年に改訂版Ver1.1ができました。

*オンライン版

平成12年4月に運用開始以来月平均2万件以上のアクセスがあり、学外からも多くの利用があります。INDEXやFAQからの検索、各種関連情報へのリンク、掲示板機能など、オンラインの特性を活かした構造となっています。

<http://www.cshe.nagoya-u.ac.jp/tips/>

*書籍版

平成13年4月に玉川大学出版部から書籍として刊行しました。イラストを使った親しみやすさと携帯性が特徴です。

池田輝政・戸田山和久・近田政博・中井俊樹『成長するティップス先生—授業デザインのための秘訣集』玉川大学出版部、2001年

●ゴーイングシラバス

「ゴーイングシラバス」は、大学教員のコースデザイン力の向上と授業支援を目的として制作されたシステムです。「シラバス」「授業記録」「みんなの部屋」の3つのパートから構成され、オンライン上で操作することができます。また、ゴーイングシラバスを上手に活用するための「コースウェア」もオンライン上で利用できます。平成15年には改訂版が公開されています。

ゴーイングシラバスへのアクセス <http://www.cshe.nagoya-u.ac.jp/gs/>

●セミナー(平成10~14年度)

センター創設記念講演会

客員教授セミナー(18回)

招聘セミナー(28回)他

●ジャーナル 『名古屋高等教育研究』第1号—第3号

毎年1回発行。世界のスタンダードを意識しながら、名古屋大学コミュニティに貢献するという方針を掲げました。第1号では「名古屋大学におけるもう一段の教養教育改革」、第2号では「名古屋大学の社会貢献」、第3号では「第三者評価の経験を共有する」を特集しました。

●ニューズレター 『高等教育研究プロフィール』第1号—第7号

毎年1~2回発行します。「名古屋大学のティーチングのあり方を考える」をミッションとし、名古屋大学教職員に配布しています。「インタビュー」「ゲストエッセイ」などの記事と当センターの活動紹介を掲載しています。